
キリンをめぐる冒険

雨野きりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キリンをめぐる冒険

【Zコード】

Z6965L

【作者名】

雨野きりん

【あらすじ】

魔法使いのリシュリュー卿率いるロココ王国との激しい戦闘から3年の月日が流れた。プロキア国を守り混乱を収めた王女モモリーは、戦闘のピンチから彼女を守り、その後、西へと去つていったキリンを探す旅に出る。あのキリンは親しかったジローラモ博士の変身だったのか?それとも...博士の失踪の謎と去つていったキリンの足跡を追う。モモのキリンをめぐる冒険が始まる。

プロローグ（一）

「なんだか頭が痛いよ・おかあさん」「そんなに急いで頭を上げるからだよ・ゆっくりと頭を上げないと頭がくらくらするんだよ・」
「ふーん・そうなんだ・」

（やうなのだ・僕らキリンは背が高いせいで・頭を一気に上げると貧血を起しそうになるのだ・）

広いサバンナの水場で・そのキリンは・ぼんやりと考え込んでいた。
（はてな？・・・何故・僕はそんなことを知っているの？・・・貧血なんてことをどこで知ったんだろう？）

西の空を真っ赤に染めて・太陽が褐色の大地に沈もうとしている。
水場に集まつたキリン達の影が・長く伸びていた・

「ジョイさんは・なんでいつもずーっと遠くを見てるの？」

わざわざの子供のキリンが・側に寄つてきて彼に話しかけた・

「やあ・トミー・なんとなくね・どこか遠くに大切な忘れ物をしてきたような気がするんだよ・」

キリンの雄には珍しくジョイは子供の相手を嫌がらない・トミーはこの風変わりな雄のキリンが好きだった・

「へえー・どんな忘れ物？・びきりおいしいアカシアの葉っぱかい

？」

「うーん、僕はアカシアの葉っぱは苦手なんだ。それじゃあないね。

」

「じゃあ、なんなの？」

「わからぬによ、ずっと前に忘れてしまったんだ。

アーリーはジロイが「ここにきて来たときのことを聞こえていた

♪続く♪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6965/>

キリンをめぐる冒険

2010年10月10日00時29分発行